

## 豚の脂肪の変色

○辻 泰司、大西 栄二、  
安藤 友美、今川 哲

動物名：豚 品種：雑種 性別  
不明 年齢：6ヶ月

病歴：本症例は、香川県内の特定の生産者が出荷する肥育豚の、主に左臀部の脂肪と筋膜の間の脂肪の茶褐色変性として、当該生産者の出荷頭数の約5～15%でみられるものである。当該農家は、以前より毎週20～30頭出荷しているが、このような症状は平成21年6月以降みられるようになった。

生体所見：一般畜として搬入され、著変は認められなかった。

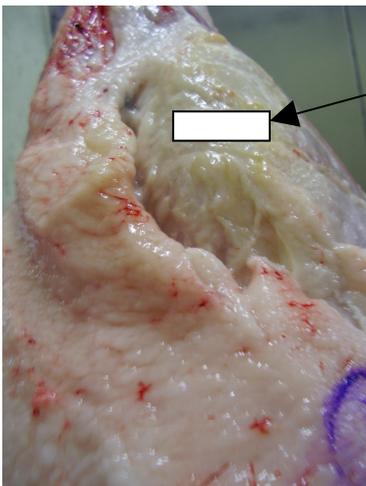
内臓所見：左臀部の皮下脂肪及び筋膜の間の脂肪茶褐色の変色がみられた。

組織所見：肉眼的に変色がみられた脂肪の間質で茶褐色顆粒状物質がみられたが、マクロファージ等の浸潤や出血像はみられなかった。

脂肪組織をHE染色とベルリン青染色で観察したところ、HE染色で多く認められた茶褐色顆粒は、青色に染色された。

固定方法：15%中性緩衝ホルマリン液

切り出し部位（図示）



切り出し部位

行政処分：一部廃棄  
組織診断名：臀部皮下脂肪組織の間質にお  
ける鉄沈着  
疾病診断名：なし